

## 富津市献血推進協議会会議録

1	会議の名称	令和6年度富津市献血推進協議会
2	開催日時	令和6年7月29日（月） 午後2時00分～2時50分
3	開催場所	富津市役所 2階 第1委員会室
4	審議等事項	議題 (1) 令和5年度富津市献血推進協議会 事業実績報告について (2) 令和6年度富津市献血推進協議会 事業実施計画（案）について その他 千葉県の献血状況
5	出席者名	献血推進協議会委員（10名） 高橋恭市（富津市長）、峯島喜明（君津健康福祉センター）、橋本茂（日本製鉄株式会社技術開発本部）、横山龍巳（黒田精工株式会社）、安田俊司（ハヤシレピック株式会社）、大野泰代（富津市赤十字奉仕団・富津市連合女性会）、福田千紅佐（千葉県立君津商業高等学校）、川口泰明（富津地区区長会）、小野田隆博（富津市健康福祉部長）、角田安隆（富津市消防長）  千葉県赤十字血液センター（2名） 土屋啓之（事業課長）、出口翔太（事業課主事）  事務局（4名） 地引憲太郎（健康づくり課長）、桑田正和（健康づくり課長補佐）、林晃平（主任保健師）、荒井脩杜（主事）
6	公開又は非公開の別	<u>公開</u> ・ 一部非公開 ・ 非公開
7	非公開の理由	
8	傍聴人数	0人（定員3人）
9	所管課	健康福祉部健康づくり課 電話 0439-80-1268
10	会議録（発言の内容）	別紙のとおり

令和6年度富津市献血推進協議会 会議録

発言者	発言内容
<p>(進行) 地引課長</p>	<p>私は、本日の会議の進行を務めさせていただきます、健康づくり課長の地引と申します。よろしくお願いいたします。</p> <p>会議を始める前に、配布資料の確認をお願いいたします。</p> <p>本日お配りした、会議次第が1枚、座席表が1枚、富津市献血推進協議会設置要綱が1枚、事前に郵送で配布させていただきました、「令和6年度富津市献血推進協議会会議資料」ホチキス止めの資料が1部、千葉県赤十字血液センター様からの資料として、「千葉県の供給・献血状況」が1枚、「献血について」ホチキス止めの資料が1部でございます。</p> <p>資料が不足している方がいらっしゃいましたら、お手数ですが挙手をお願いいたします。</p> <p>それでは、定刻となりましたので、ただいまから令和6年度富津市献血推進協議会を開会いたします。</p> <p>本日の会議は15名の委員のうち、出席者10名で過半数に達しておりますので、「富津市献血推進協議会設置要綱」第6条第2項により会議は成立しております。</p> <p>この会議は、富津市情報公開条例第23条の規定により、会議の公開と、会議録を作成し閲覧に供さなければならないこととなっておりますので、傍聴人の受け入れと会議録の公表について、ご理解の程をお願いいたします。なお、本日の傍聴人はおりません。</p> <p>また、会議録作成のため、会議の内容を録音させていただきますのでご了承くださいませようをお願いいたします。</p> <p>それでは、次第の2「委員及び事務局職員紹介」でございます。</p> <p>本日は、令和6年度となり、委員及び事務局職員の交代もございましたので、改めて委員の皆様及び職員のご紹介をさせていただきます。</p> <p>令和6年度富津市献血推進協議会会議資料1ページの令和6年度富津市献血推進協議会委員名簿をご覧くださいと存じます。</p> <p>交代のございました委員につきましては、委嘱状を机上配布により交付させていただきます。</p> <p>それでは、委員の皆様を委員名簿の順に、ご紹介させていただきます。</p> <p style="text-align: center;">(名簿順に照会)</p> <p>続きまして、本日、千葉県赤十字血液センター千葉港事業所事業課長土屋啓之様、同じく事業課主事出口翔太様にご出席いただいております。</p> <p>後ほど、千葉県の献血状況についてご説明をいただきます。</p> <p>続きまして、事務局の紹介をさせていただきます。</p> <p style="text-align: center;">(事務局の紹介)</p>

<p>高橋会長</p>	<p>それでは、次第の3「会長あいさつ」でございます。 本協議会の会長であります、高橋市長からご挨拶申し上げます。</p> <p>改めまして皆様こんにちは。</p> <p>本日は、大変お忙しい中、令和6年度富津市献血推進協議会にご出席いただきまして誠にありがとうございます。</p> <p>日頃、本協議会の事業推進にご理解、ご協力、ご指導をいただきありがとうございますことを厚くお礼申し上げます。</p> <p>近年の医学の発展は目覚ましく、医療技術の高度化が進んでおりますが、医療に必要な血液は、現在も善意による献血によって支えられております。</p> <p>しかしながら、社会の少子高齢化により、献血可能な人口は減少する半面、医療を必要とする人の割合は増加し、血液の需要はますます高まると考えられます。</p> <p>また、本日も40℃に迫る暑さではありますが、このような環境の中で、献血にどのような影響があるか、後ほど赤十字様からのご説明等でお聞かせいただければと思っております。</p> <p>私どもといたしましては、このような状況の中で、健康な方が善意により無償で血液を提供していただき、誰でも安心して輸血を受けることができるよう、今後も、思想の普及や環境づくりに努めてまいりたいと考えております。</p> <p>昨年度は、県の献血目標を大幅に達成することができました。</p> <p>今年度も引き続き目標を達成できるよう、啓発活動に努めてまいりますので、今後ご協力をお願い申し上げます。</p> <p>本日は、令和5年度の事業実績報告と、令和6年度の事業実施計画（案）を議題とさせていただきます。よろしくご審議賜りますようお願い申し上げます、挨拶とさせていただきます。</p>
<p>地引課長</p>	<p>ありがとうございました。</p> <p>これから、議題に入らせていただきます。</p> <p>議事進行につきましては、協議会設置要綱第6条第1項の規定により、会長である市長が会議の議長となることとなっておりますので、会長よろしくお願いたします。</p>
<p>高橋議長</p>	<p>それでは、議長を務めさせていただきます。皆様のご協力をお願いいたします。</p> <p>ここで、会議録署名委員を指名させていただきます。今回は、横山委員、福田委員をお願いいたします。</p> <p>それでは、次第の4、議題の（1）「令和5年度富津市献血推進協議会事業実績報告について」事務局の説明を求めます。</p>
<p>桑田課長補佐</p>	<p>それでは、「令和5年度富津市献血推進協議会事業実績報告について」説明させていただきます。</p>

資料により説明  
(説明要旨)  
令和5年度富津市献血推進協議会事業実績報告  
200ml 献血 11名  
県目標の73.3%、市目標73.3%の達成  
400ml 献血 961名  
県目標の210.3%、市目標の100.1%の達成  
合計971名  
県目標の205.9%、市目標の99.7%の達成  
24会場で実施  
受付1,098名、不採血126名

以上で「令和5年度富津市献血推進協議会事業実績報告」についての説明を終わります。  
よろしく、ご承認の程、お願い申し上げます。

高橋議長

事務局の説明は終了しました。  
ただ今の説明に関して、ご質問、ご意見等ありましたらお願いいたします。  
それでは、特にないようですので、「令和5年度富津市献血推進協議会事業実績報告」につきまして、承認ということでよろしいでしょうか。

「異議なし」の声あり

高橋議長

ありがとうございます。  
それでは、異議がないとのことですので、承認いたします。

続きまして、議題の(2)「令和6年度富津市献血推進協議会事業実施計画(案)」について事務局の説明を求めます。

桑田課長補佐

それでは、「令和6年度富津市献血推進協議会事業実施計画(案)」について、説明させていただきます。

資料により説明  
(説明要旨)  
令和6年度富津市献血推進協議会事業実施計画(案)  
市独自の目標  
200ml 献血 14名、400ml 献血 958名  
合計 972名  
千葉県が定めている富津市の目標  
200ml 献血 14名、400ml 献血 463名  
合計 477名

富津市独自の献血目標につきましては、例年、千葉県が定める富津市の目標を200%以上達成していることから、本市の人口減少分を考慮せず、前年度の合計実績数と同数の972名を目標に掲げ、また、千葉県が定めている富津市の200m1 献血14名の目標を参考に作成しております。

この中に記載はございませんが、新たな会場など、千葉県赤十字血液センター様と協力し、検討していきたいと考えております。

以上で「令和6年度富津市献血推進協議会事業実施計画（案）」についての説明を終わります。

よろしく、ご承認の程、お願い申し上げます。

高橋議長

事務局の説明は終了しました。

ただ今の説明に関して、ご質問、ご意見等ありましたらお願いいたします。

橋本委員

目標数は例年減少しているのか。減少していればその理由もお願いいたします。

桑田課長補佐

県が示す目標値を参考に作成しておりますので、人口減少分下がっていく傾向となっております。

高橋議長

他にございませんか。

それでは、特にないようですので、「令和6年度富津市献血推進協議会事業実施計画（案）について」承認ということでよろしいでしょうか。

「異議なし」の声あり

ありがとうございます。

異議がないとのことですので、承認いたします。

以上で本日の議事は全て終了いたしました。議長の職を解かせていただきます。

ご協力ありがとうございました。

地引課長

ありがとうございます。

続きまして、次第の5「その他」になります。

千葉県の献血状況につきまして、千葉県赤十字血液センター千葉港事業所事業課長の土屋様から、ご説明いただきます。

土屋事業課長

改めまして、日頃から血液事業にご協力いただきまして誠にありがとうございます。

千葉県の献血の状況ということでお話をさせていただく前に東京都の方の調べになりますが、全国的には同じような状況ということでご

説明させていただきます。

輸血用の血液は、何に使われているのかというと、悪性新生物のがん患者さんに内科的治療で使うものが一番多くなっておりまして、血液の造血器を含めると半分以上を含めている形となっております。

学生に血液の使用方法についてアンケートを取ったところ、交通事故、外傷等に多く使われていると意見がありましたが、こちらの使用は全体の約2%となっております。

こういった部分で使われるのは、本当に少なく、普段から内科的治療で使われる血液が一番多いということをご理解ください。

輸血を受けた方の年齢になるのですが、50歳以上の方が85%以上を占めています。

会長からもありましたけれど、少子高齢化によって輸血を受ける方々の年齢層が高くなっているところ、今後献血をさせていただける若い方が少ないので、若年層の対策をしっかりとっていかないと、今後の血液事業が成り立っていかないということもご理解ください。

全国の献血状況と千葉県の献血状況になりますが、同じような割合で400ml献血、200ml献血、成分献血を行っております。200ml献血の割合がとても少ないのですが、医療機関からの注文が少ないからです。必要以上に200ml献血を行ってしまうと、有効期限内に使い切ることができない可能性が出てしまうということで、上限を持たせていただいております。

不採血の状況になりますが、富津市は126人に対し千葉県全体では、25,032人となっております。内訳になりますと、血液の濃さが足らずに実施できない方が42.7%で10,682名、血圧が高い又は低くできない方が4.7%で1,165名、服薬により実施できない方が8.4%で2,091名、以下はその他になりますが、時間がとれない関係で実施できない方が多くなっています。

千葉県の人口比率になりますが、総人口約630万人で献血可能人口が約419万人（16歳～69歳）になります。令和5年度は、122,134人の方に協力いただき、延べ人数で236,025人になります。まだ全体の約1.9%しか協力を頂けていないので、広げていきたいと思っています。

千葉県で1人の献血者から1年間に何回献血いただいているのかになります。年1回が59.4%で72,564名、年2回が23.2%で28,387名、年3回の方が10.2%で12,505名、4回以上の方が7.1%で8,678名になります。人口比率と合わせて考えると、初めての方を増やしながら、年に複数回行ってくれる方の増やす形で血液事業に取り組んでいきたいと思っております。

千葉県の献血と供給状況になりますが、1年間に163,825人に協力いただいております。県の目標は達成できたのですが、病院にお届けする数は足りていませんでした。千葉県は、関東甲信越ブロック血液センターで、1都3県（東京、神奈川、千葉、埼玉）協力して献血を行っているため、足りなかった分は他県から頂いております。

全血献血の目標数は千葉県低く設定されています。その代わり献血

	<p>ルームが充実しており、ルームでしかお願いができない成分献血の目標数が高くなっています。成分献血は血漿をいただき、薬を作る原料としているもので、こちらも国から成分献血の目標も設定されているため、1都3県役割分担をしながら献血を行っています。</p> <p>令和6年度の千葉県献血目標になります。400ml献血は153,079人、200ml献血は3,906人、成分献血は72,717人の協力が必要になります。</p> <p>これを1日単位で割ると、バス1台あたり、400ml献血が45人、200ml献血が2人、献血ルーム1か所で、400ml献血が38人、200ml献血が1人、成分が44人になります。</p> <p>バスの稼働といたしまして1日に45人お願いできるように、午前1箇所、午後1箇所とバスを配車する計画を組んでおりますので、皆様には引き続きご理解ご協力をいただきたいと思います。</p> <p>以上で千葉県の献血状況についてのご説明を終了いたします。ありがとうございました。</p>
地引課長	<p>土屋様、ありがとうございました。</p> <p>委員の皆様、何かご質問がございましたらお願いします</p>
橋本委員	<p>血液の保存期間はどのくらいですか。</p>
土屋事業課長	<p>赤血球製剤の保存期間は、採血後28日間。血漿製剤は、採血後1年間。血漿板製剤は4日間になります。</p>
橋本委員	<p>研究開発により、保存期間を延ばすことはできないのですか。</p>
土屋事業課長	<p>赤血球製剤について、約1年半前までは保存期間が21日でした。それが今は28日になっております。血小板製剤について、当初は分離をしてから6時間だったのですが、今は採血後4日間と伸びています。</p>
高橋会長	<p>献血の回数について、年間に何回実施できますか。</p>
土屋事業課長	<p>移動採血者バス等で行う、全血献血は男性の場合1年間に1,200mlまでで3回。女性の場合800mlで2回になります。3ヶ月から4か月に1回です。</p> <p>そのほかに、血漿または血小板のみの成分献血は年間に24回実施できます。2週間に1回できます。</p>
小野田副会長	<p>成分献血を行ったことがあるのですが、市役所献血等の移動採血者バスで行わないのは、時間とかの関係になるのですか。</p>
土屋事業課長	<p>持ち運べる成分献血の装置がないのと衛生管理ができない、それから時間の関係になります。もし行うとなると、1日に20人くらいに</p>

	<p>なってしまうので、成分献血はルームに任せて、全血献血はバスとルーム実施するよう、役割分担を行っています。</p>
小野田副会長	<p>成分献血はどのくらい時間がかかりますか。</p>
土屋事業課長	<p>血漿や血小板、成分の量によって時間は変わりますが、30分以上針を刺して、その後休憩になりますので1時間くらいになります。</p> <p>また、全血献血になりますが、お願いするのにかなり時間がかかっている状況で、休憩が以前に比べて長くとるようになっていました。その中で会長からの挨拶でもあったよう暑さについて、室内で行える箇所については問題ないのですが、外で行う場合はテントになります。そうすると、血液を頂いた方を炎天下の中で休憩させるのは厳しい状況になります。血液を頂いた後に脱水になりかねませんので、夏場は環境のいいルームでの献血をお願いしたい中ですが、血液を確保のために私共もテント等で休憩を行ってる会場に対し、涼しい環境を提供してもらうようお話を進めさせていただきます。</p>
川口委員	<p>血液を使用の前に安全性の検査をしていると思うのですが、通知している部分、していない部分について教えてください。</p>
土屋事業課長	<p>献血が終わった後に通知している内容は、生化学検査、血球計数検査、そのほかに肝炎等が出ればお知らせしています。例えばエイズを検査は行っていますが、通知はしておりません。</p> <p>赤十字からお願いになります。若年層を増やしていきたいので、お声かけ等による皆様のご協力をよろしく願いいたします。また、高等学校への献血が200mlの割合が増えることによりできなくなっています。そのため、献血バスが行くのではなく、セミナーというものを実施しておりますので、ぜひ学校関係にお話をお願いします。</p> <p>それから、献血をご協力いただいている事業所につきまして、水分不足による脱水、特に採血後の休憩不足による体調不良があります。仕事の関係もありますが、赤十字の職員が目に残る場所で約20分の休憩をお願いするようお声かけください。</p>
地引課長	<p>他にございませんか。</p> <p>それでは、特にないようですので、以上をもちまして、令和6年度富津市献血推進協議会を閉会とさせていただきます。</p> <p>委員の皆様には、長時間にわたり、慎重審議、ありがとうございました。</p>